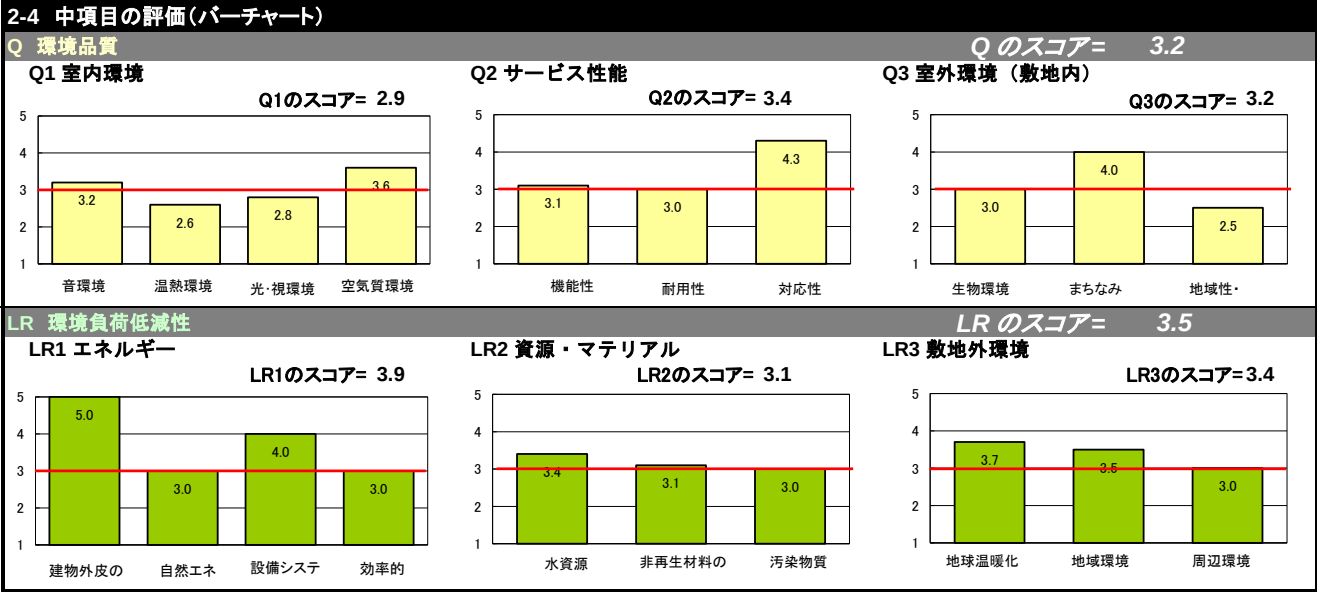
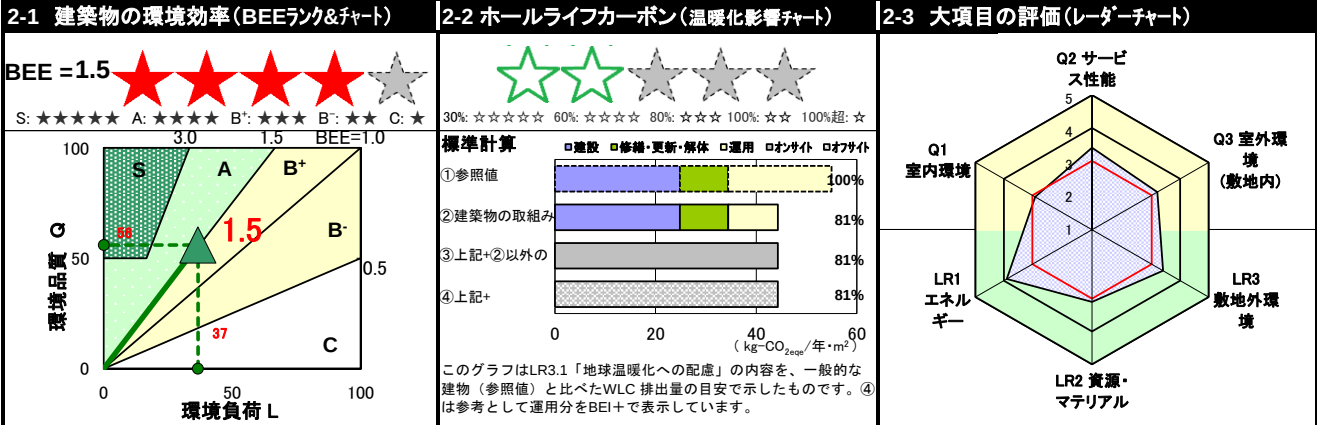


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Landport北伊丹 新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県伊丹市北伊丹8丁目10-7、8/川西市久代6丁目19-1、16、17	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	360 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年2月 予定	評価の実施日	2026年1月9日
敷地面積	57,976 m ²	作成者	株式会社熊谷組関西一級建築士事務所
建築面積	34,033 m ²	確認日	2026年1月9日
延床面積	110,219 m ²	確認者	株式会社熊谷組関西一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	伊丹市に計画された地上4階建て、S造の物流倉庫。高効率設備や節水器具を採用することでライフサイクルCO2排出量を削減した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	事務所部分はLow-Eガラスを採用するなどして断熱性能を高めた。化学汚染物質対策として、内装材及び接着剤などは全てF☆☆☆☆を採用した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内は積極的に緑化をし、外観は周辺環境と調和するような色彩等を配慮した。
LR1 エネルギー	高効率の設備を採用することで運用時の消費エネルギー削減に努めた。	LR3 敷地外環境 燃焼器具を使用せず、大気汚染防止に務めた。
Q2 サービス性能	耐久性に配慮し、更新間隔の長い内装材、配管を採用した。	
LR2 資源・マテリアル	水資源保護として自動水栓や節水型便器を採用。躯体と仕上げ材が容易に分別できるようにしたり、OAフロアを用いて、部材の再利用可能性向上に取り組んだ。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される